

2025年2月6日

千代田化工建設株式会社
 総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

2025年3月期 第3四半期決算説明会 質疑応答要旨
(2月5日開催)

2月5日に開催致しました、2025年3月期第3四半期決算説明会(電話会議)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

#	質問	回答
1	第3四半期累計業績 / 業績予想の修正	
	第3四半期における利益率が、第1/2四半期に続き高い水準であるが、主たる要因を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> • 主に下記三点により標準的な利益率を上回る進捗となったもの。これらの影響を勘案し、通期業績予想の見直し(上方修正)を第3四半期にて実施した。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 上期に、タンゲーLNGにて「顧客による性能保証試験の承認が下りたことに伴うリスクとして計上していた費用を取り崩し」および「想定より早いタイミングで累計生産量のマイルストーンを達成したことによるインセンティブボーナスの獲得」 2. 第3四半期において、ゴールデンパス LNG における第1系列の契約改定合意に伴う採算改善 3. グループ会社を含めた国内遂行案件の堅調な収益の伸長
2	受注	
	今期通期予想2,500億円の達成見通しおよび来期の見通しは。	<ul style="list-style-type: none"> • 今期の通期予想2,500億円に対して、第3四半期累計の受注高は1,423億円。第4四半期に複数案件の受注を見込んでおり、通期予想の達成を目指す。 • 来期以降については、自己資本の水準を考慮したうえで、海外案件も含めて受注計画を検討している。

#	質問	回答
	米国における LNG の事業環境に対する見方および取り組み方針を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> 大統領の交代により、米国における LNG 案件の投資決定が増える可能性はある。但し、案件期間が数年にわたることや労働者の数に限りがあること等を考慮すると、急激ではなく徐々に増えていくと想定する。 当社としては、工事リスクやジョイントベンチャーパートナーリスク等を慎重に見極め、リスクを取れる案件を選別し取り組んでいく。
3	ゴールデンパスLNG	
	新ジョイントベンチャー(JV)体制での顧客との新たな契約の締結について、最新状況を教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> 2024年11月に、第1系列の契約改定に顧客と合意し、それに伴う採算改善を第3四半期に計上した。 残る第2系列および第3系列については、引き続き契約改定に向けた顧客との協議を継続している。今後、係る影響を反映した損益算定が可能となった段階で、業績予想の開示基準に基づき、その修正を実施し、速やかに公表する。

以上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。